令和４年度　竹松小学校経営方針（第３次案）

教育方針

長崎県や大村市などの教育方針に基づき、これまでの校風や伝統を継承しながら、**ふるさとを愛し夢や目標を持って２１世紀をたくましく生きぬく子どもの育成**に努める。このため、教職員がその使命と責任を自覚し、ふれあいと感動に満ち、地域に根ざした教育の充実発展に努めると共に、大人になり社会の役に立つ人となるような人づくりの基盤づくりに努める。

学　校　教　育　目　標

夢を持ち　創造性に富んだ　心豊かで　明るく元気な　竹松っ子の育成

めざす学校像
- 安心、安全な学校
- 豊かな学びと規範意識を大切にする学校
- 保護者や地域に信頼される学校

めざす児童像
- 明るく思いやりのある子ども
- 夢を持ち自ら考え実践する子ども
- 元気で頑張る子ども

めざす教師像
- 児童に寄り添う教師
- 教育のプロの自覚を持ち、学び続ける教師
- 保護者や地域に信頼される教師

竹小の課題
- ○学力向上
- ○配慮を要する児童への対応
- ○不登校傾向児童への対応

大村市の課題
- ○学力向上（豊かな学力の実現）
- ○不登校対策（不登校０の実現）
- ○多様な感性を育てる環境作り

学校教育目標の達成のために

第６章　終わりよければすべてよし

学力向上
→①竹松小スタンダードの完全定着（継続）
②最後まで「わかった」「できた」のある授業
③積み残したものの回収（次年度への橋渡し）

配慮を要する児童・不登校傾向児童への対応（継続）
→情報共有＋具体的なプラン＋実践＝結果を出す

生活規範の行動化
→まずは「スリッパ並べ」次に「廊下歩行」＋学年の課題

楽しい学校の実現
→お別れの日を想定して、子どもたちと良い別れができるように
→楽しく感動するお別れ集会の実施（子どもたちが主体的に動く姿）

【年間を通して達成に近づけたい８つの取組】

学力向上
- 学習規律の徹底
- 竹松小スタンダードの浸透
- わかったできたのある日々の授業
- ~~家庭学習の定着~~
- ~~同僚性を土台とした授業改善~~

心の教育
- ~~心に届く教科「道徳」~~
- 自己肯定感の高揚
- 主体的な児童の育成

生活指導の徹底
- 規範意識の行動化
- ~~全職員による生活指導~~
- ~~補助員との緊密な連携~~

特別支援教育の充実
- 特別支援学級の子どもの将来を見据えた指導
- ~~配慮を要する児童への対応~~

体育を通した力の向上
- 体力と技能の向上
- ~~耐性の向上~~
- ~~集団行動の徹底~~

保護者・地域との連携
- ~~迅速、誠実な対応~~
- ~~報・連・相の徹底~~
- ~~関係機関との連携強化~~

安心安全な学校
- ~~危機管理の意識共有~~
- ~~事務職員との連携強化~~
- ~~保健室経営のサポート~~

生活習慣の向上
- ~~早寝早起き朝ごはん~~
- 欠席・遅刻者減少へ
- ~~メディアコントロール~~

校長として実現すること

信頼される校長　　～最後の日まで、全力を尽くす～